

## 従業員エンゲージメントやコラボレーション、ウェルビーイングといった職場環境での課題を解決するには？

一杯のコーヒーがコミュニケーションを活性化する

🕒 Read 2分



最近ではオフィスに社内カフェやコーヒーを飲みながらのカジュアルな会話を促す「場」が増え、一杯のコーヒーを社内のコミュニケーションの活性化につなげている企業が多い。

理由は単純だがそこには確固とした視点がある。私たちは席を離れることなく、常にネットに繋がり、ニュースを見たり、ネット掲示板に参加したりとネット中心に忙しく仕事をこなすようになった。しかし、便利になった一方で負の影響ももたらしている。所謂、無形資産である信頼に基づいた人間関係やチームワーク、企業文化といったものである。これらの要素は対面でのコミュニケーションや肩を並べて仕事をしたり、コーヒーを飲みながらおしゃべりすることで培われるものである。

「ドリンクを飲むという行為は栄養を取り入れることはもちろん、1日を通して、仕事で煮詰った時、不安やいやなことがある時に一時的に気分をリフレッシュさせたり、それによって仕事が捗ることもある。」と語るのはMars Inc.の事業部であるMARS DRINKSのワークプレイスバイタリティのグローバル統括副社長のTracy Brower氏だ。



